

名古屋大学年代測定総合研究センター共同利用に関するアンケート結果  
**Result of questionnaires about collaboration**  
**with the Center for Chronological Research, Nagoya University**

南 雅代 (Masayo Minami)

名古屋大学年代測定総合研究センター (Center for Chronological Research, Nagoya University)

**Abstract**

In the 22th symposium on the chronological studies at the Nagoya University Center for Chronological Research, on January 14, 2010, questionnaires about collaboration were sent out to participants, most of who are users of the center. Few questionnaires were got from only 12 people in 51 participants, but the obtained contents are valuable to know opinions of users. The main results of questionnaires are shown in this report.

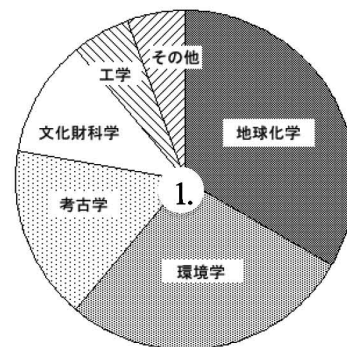
2010年1月14日(木)の第22回名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム開催中に、学内および学外共同利用者に対して、当センターの共同利用に関するアンケートを取りました。こちらの周知不足もあり、来場者51名のうち12名からしかアンケートを得ることができませんでした。回答していただいたアンケート結果から、当センターの共同利用状況、当センターに対してユーザーの方々がおどのような意見を持っているかについて、少しではありますがうかがい知ることができます。以下に、アンケートのうち主な結果を示します。( )内の斜体の数字は、その項目に○を付けた人の数を表しています。

-----アンケート結果-----

●共同利用時の状況

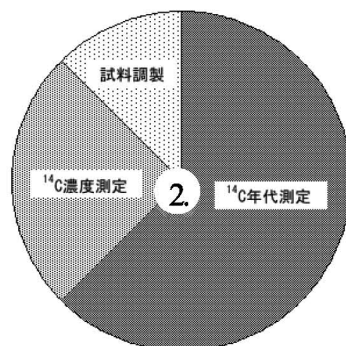
1. 共同利用研究分野

- 地球化学 (6)
- 環境学 (5)
- 考古学 (3)
- 文化財科学 (2)
- 工学 (1)
- その他 (1) (自然災害科学、応用地質学)



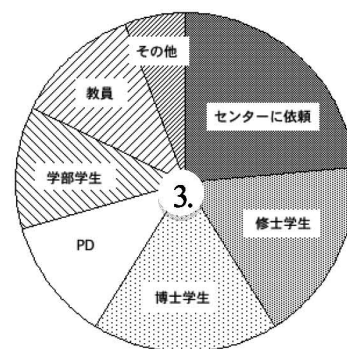
2. 依頼したのは?

- $^{14}\text{C}$ 年代測定 (10)
- $^{14}\text{C}$ 濃度測定 (4)
- 試料調製 (2)



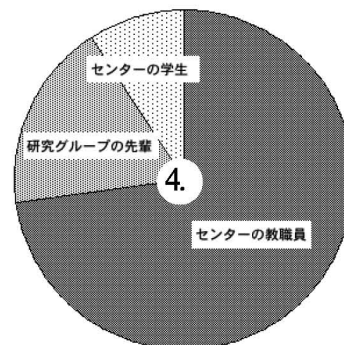
3. 試料調製を行ったのは?

- センターに依頼 (4)
- 修士学生 (3)
- 博士学生 (3)
- PD (2)
- 学部学生 (2)
- 教員 (2)
- その他 (1) (研究生)



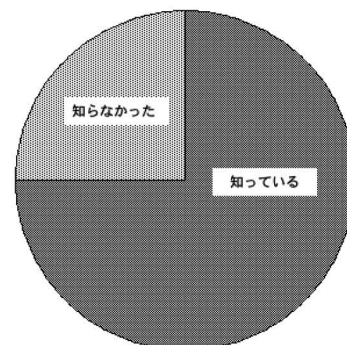
4. 試料調製を指導したのは？

- センターの教職員 (8)
- 研究グループ先輩 (2)
- センターの学生 (1)



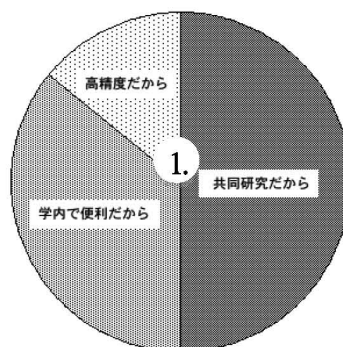
●試料調製室のウェブでの予約・キャンセルシステムについて

1. ウェブでの予約システムを知っている (9)  
知らなかった (3)
2. 予約システムに関しての要望
  - ・ 午後の予約を2つに分けてほしい
  - ・ 長期間の予約に対して決まりが欲しい
  - ・ 予約システムの URL をホームページにのせてほしい
  - ・ 更新頻度の向上



●センター共同利用に関して

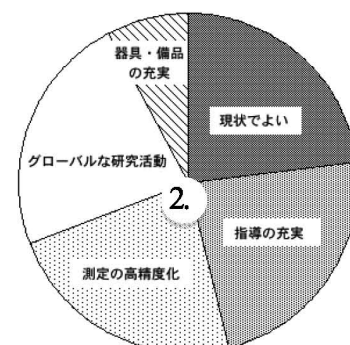
1. センターを利用する理由  
センター教員との共同研究だから (7)



- 学内で便利だから (5)
- 高精度な結果が得られるから (2)
- 価格が安いから (0)

2. センターへの希望

- 現状でよい (3)
- 指導の充実 (3)
- 測定の高精度化 (3)
- グローバルな研究活動 (3)
- 器具・備品の充実 (1) (きちんとしたクリーンルームを整備して欲しい)



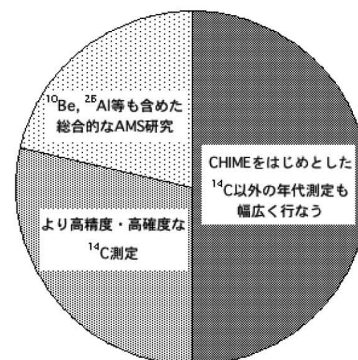
●センターの今後の方向性についての要望

- $^{14}\text{C}$  以外の年代測定 (CHIME、Rb-Sr、K-Ar 年代測定等) も幅広く行なう (7)

- より高精度・高確度な  $^{14}\text{C}$  測定 (4)
- $^{14}\text{C}$  のほか、 $^{10}\text{Be}$ 、 $^{26}\text{Al}$  等も含めた総合的な AMS 研究 (3)
- $^{14}\text{C}$  をトレーサーとして用いる研究の充実化 (0)

意見欄

- ・ 従来の方法にこだわらず新しい方法も試して行ってほしい。
- ・ 装置の故障などで測れないときに、他機関と測定のバーターをするのはどうか。



センターを利用する理由としては、センター教員との共同研究だから、というのが一番多い結果となりました。ここ3年の回答の傾向を図1に示します。高精度な結果が得られるから、という理由が減少していますが、タンデム加速器質量分析計2号機も導入後10年を超え、故障が前より多くなったこと、他の機関（民間を含めて）でも高精度な測定が可能になりつつあること、という現状を反映したものと考えられます。当センターでは、今後さらに、試料調製から測定までの完璧な処理・操作を目指し、さらに高精度・高正確度測定を最優先課題として取り組んで行く所存です。

センターの今後の方向性に関しては、CHIME法をはじめとした $^{14}\text{C}$ 法以外の年代測定を幅広く行なってほしいという要望が伺えました。センターの常勤教職員はわずか教員5名、技官1名であり、この構成員だけで、国際レベルの幅広い年代測定を実現・維持していくのは現実には厳しいものがあると思われませんが、できる限りの努力をしていきたいと思っております。是非とも、共同利用者のご協力をよろしくお願い致します。

今回、回収枚数が少なかったのは残念ですが、アンケートをいただいた方からは、貴重なご意見をいただくことができました。今度、回収率をあげるための尽力をし、もっと広く利用者の意見を取り入れていきたいと思っております。円滑なセンター共同利用、センター推進のために、是非ともみなさまのご意見をお寄せ下さい。

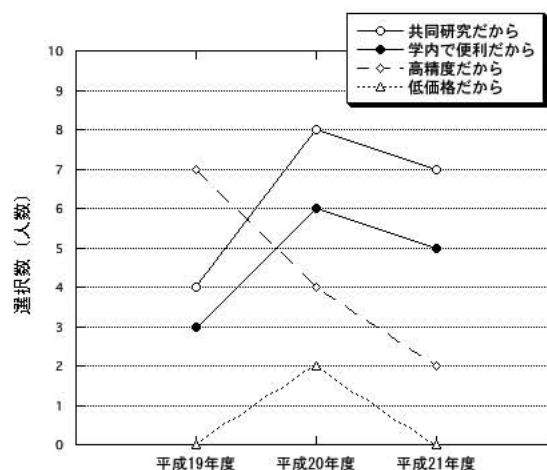


Fig. 1 Reason for selecting the Nagoya University Center for Chronological Research

図1 センターを利用する理由